

令和5年度

議会報告会



《 次 第 》

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 班員紹介
- 4 報 告
 - (1) 令和4年度 議会の活動状況
 - (2) 予算、決算等の審議概要
- 5 報告についての質疑応答
- 6 意見聴取
- 7 閉 会



【能代市議会】

【議会報告会日程】

日	時	会 場	担当班
10月16日(月)	午後6時00分	南部公民館	1 班
		中央公民館	2 班
		向能代公民館	3 班

【議会報告会班構成】

班	班 長	班 員 (議席番号順)		
1 班	藤田 克美	安井 英章	鍋谷 暁	藤田 拓翔
		阿部 誠	安岡 明雄	渡辺 優子
2 班	菅原 隆文	菊地 時子	今野 孝嶺	畠 貞一郎
		針金 勝彦	後藤 健	
3 班	武田 正廣	相場未来子	大高 翔	渡邊 正人
		小野 立	落合 範良	

4 報 告

(1) 令和4年度 議会の活動状況

① 本会議等

月 日	事 項
5月17日	5月臨時会を開催した
6月14日	6月定例会を開催した(30日まで)
9月 6日	9月定例会を開催した(29日まで)
10月31日	10月臨時会を開催した(11月4日まで)
11月29日	12月定例会を開催した(12月20日まで)
12月20日	議会改革調査特別委員会を設置した
2月28日	3月定例会を開催した(3月24日まで)

議会開催回数 定例会 4回 臨時会 2回

会期合計日数 94日(うち開議日数23日)

本会議平均出席議員数 20人(条例定数20人)

② 議案の議決件数

(単位：件)

区 分	市 長 提 出							議 員 提 出		計
	可決	修正 可決	同意	認定	承認	否決	継続 審査	可決	否決	
条 例	34							3	1	38
予 算	44									44
決 算				3						3
専 決					9					9
意見書								8		8
その他	19		8						1	28
計	97	0	8	3	9	0	0	11	2	130

③ 請願・陳情処理件数(単位：件)

区 分	請 願	陳 情
採 択	2	7
不 採 択		5
取り下げ		
一部採択等		
継続審査	1	1
審議未了		
計	3	13

④ 常任委員会・特別委員会等開催数

区 分	回数 (回)	備 考
委員会開催数	73	
予算委員会	22	
部門別常任委員会	22	総務企画 7、文教民生 7、産業建設 8
議会運営委員会	21	
特別委員会	8	決算 5、議会改革調査 3
その他会議の開催数	25	会派代表者会議 10、会派世話人会 3、 正副委員長会議 1、会派代表、 議会運営委員会協議会 3、全員協議会 2、 広報委員会 8

⑤ 行政視察

● 総務企画委員会

○ 視察日 令和5年1月24日～26日

○ 視察先 兵庫県丹波篠山市、大阪府四條畷市

○ 視察項目（丹波篠山市）

- ・ 黒まめサポーター職員制度



視察報告

丹波篠山市では特産品である黒枝豆の収穫期の労働力不足改善、職員の地域貢献活動、人材育成等を目的に職員に農業分野に特化した副業を認めている。現在、制度利用職員は10名。内訳は20代男性職員9名、30代女性職員が1名。当該制度が労働力不足を補うまでには至っていないが農業分野において若手職員が知見を広げること寄与している制度であると感じた。

- ・ 若者たちでまちづくり会議



視察報告

丹波篠山市では総合計画の策定段階において、策定に関わる委員に若者がおらず、また策定委員からも若者が施策を提案できる機会が必要であるとの意見があった。そこで、若者がまちづくりに対する意見や思いを話し合う会議が開催されることとなった。参加者は、高校生5人、大学生8人、社会人2人の計15人。参加資格は、市内に在住、在学、在勤の16歳から25歳前後の若者または市外在住の場合は出身者または市内で活動している人としていた。テーマは、①篠山口駅周辺、②城下町周辺、③中山間・小規模集落から選択し、テーマごとに分かれて、それぞれの地域特性や問題点等を洗い出し、話し合いが行われた。最終回として市長提案会が開催され、市長、副市長、教育長、議長に向けて発

表が行われた。各テーマで発表されたものは実施に向けて活動していくことになり、駅周辺に関する提言では、実際に実施されたものもあった。

○視察項目（四條畷市）

- ・けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり



視察報告

けいはんな学研都市（正式名称：関西文化学術研究都市）とは、京都、大阪、奈良の3府県にまたがる京阪奈の緑豊かな丘陵において、関西文化学術研究都市建設促進法に基づき、建設・整備を進めているサイエンスシティーであり、国家的プロジェクトに位置づけられている。四條畷市では、市東部の田原地域において地域主体のまちづくり、スマートシティーへの取組が行われている。産学官連携を通して、ICT技術を活用した買い物支援実証実験、自動運転・デマンド交通実証実験、ICT機器を活用した認知症初期集中支援サポートにおける実証実験など様々な取組が行われている。本市におけるDX推進等において今後参考になる取組であると感じた。

●文教民生委員会

○視察日 令和5年1月11日～13日

○視察先 兵庫県加古川市、兵庫県明石市

○視察項目（加古川市）

- ・見守りサービスの取組



視察報告

過去に、刑法犯認知件数が県下自治体でワースト上位を占めていたことや、行方不明になる認知症高齢者が非常に多い経緯から、カメラの設置と検知器を活用した見守りサービスを実施。市内には見守りカメラを1475台設置。カメラに搭載された検知器が、子供や高齢者など見守りが必要な方が持つタグの信号を検知し、保護者等がアプリで位置を確認できる仕組みである。

加古川市では、設置前の平成29年に比べて設置後の令和3年は、刑法犯認知件数が半分以下になっていることから間違いなく効果が現れていると考えている。認知症高齢者の徘徊の減少の効果は数としては捉えていないものの、見守りサービス利用者に対してアンケートを行ったところ、行方不明時に過半数の利用者が見守りカメラを活用したという結果が出た。

導入費用等については、コンサル費用、カメラ等900台設置費用、追加設置費用、ランニングコストとして電気使用量、回線使用料等がか

かる。利用率の拡大やカメラの入替え費用の一般財源からの捻出が今後の課題とのことであった。

○視察項目（明石市）

・おむつ定期便事業



視察報告

子育て中に最も不安や負担を感じ、子連れでの外出が難しく、地域で孤立化したり、虐待の重篤な事例が最も多い時期であることから、ゼロ歳児養育家庭に定期的に関わって、見守り続けることで、育児に関する不安や悩み、心配などに対して、早期の支援につなげていくことを目的として実施している。

大体生後4か月目から1歳の誕生日までの最大10か月間、見守りも兼ねて、3,000円相当の赤ちゃん用品と子育て情報誌を毎月無料で届ける。子育て経験のある配達員が不安や悩み、心配事の相談も受ける。明石市では生活協同組合コープこうべに委託し、約2,200世帯を9人の配達員で1か月に1回訪問、見守りをしている。

・スクールフレンド派遣事業



視察報告

明石市近隣在住の教員志望または教育関係に関心のある学生を、教員・教諭、児童生徒を支援するためのスタッフとして、小・中学校へ派遣する事業。

児童生徒にとっては、個別に丁寧な支援となっているので学習意欲が非常に高まっている。学校や教職員にとっても、授業の補助だけではなく、教材準備や教材づくりの補助、また休み時間や放課後の児童へ対応してくれるということで好評。特に小学校からの需要が多くなっており、派遣数は年々増加している。

●産業建設委員会

○視察日 令和5年1月11日～13日

○視察先 宮崎県日向市、中国木材株式会社日向工場、宮崎県宮崎市

○視察項目（日向市）

・駅と地元木材を活用したまちづくり



視察報告

日向市では、昭和50年以降、中心市街地の空洞化が進んでいたが、行政、商業者、地域住民が一体となり、中心市街地の再生に取り組んできた。

市の中心部を二分していた鉄道の立体交差事業が国に採択されたことをきっかけに、JR九州や学識経験者を交えたシンポジウムや、産官学民連携の日向地区都市デザイン会議を継続的に開催し、施設やまちづくりの構想を市民と共有しながら進めた。また、街区ごとに

街区憲章を作成し、コンセプトやルールを権利者自らが決めていった。

空き地や空き店舗が目立っていた町なかの商業集積には区画整理事業を活用した。地権者が合意し、具体的な計画が決まった街区から区画整理を進めていくことで事業の加速化を図った。

また、杉材の蓄積量が多いという地域の特色を生かし、駅舎や交流広場の屋外ステージ、区画街路のポラード等に杉を使用し、一目で木材の産地だとわかる空間を作った。個々の店舗に対しても、地元の建築士会が景観アドバイザーとしてコンセプトを個別に指導した。

○視察項目（中国木材株式会社日向工場）

- ・中国木材株式会社日向工場視察



視察報告

日向工場は製材工場として国内最大規模の工場である。バイオマス発電所を併設している点で能代工場と共通点がある。

中国木材の製品出荷は、工場から全国の物流センターへ製品を運び、そこに製品をストックして、センターからトラックで顧客へ小口配送するという流れである。日向工場からセンターへの輸送は船を用いる。工場と港が隣接しているため、工場内にストックして船へ積み込むことが可能である。大型船であれば、一度に2,000立方メートル運ぶことができる。

能代工場の稼働に当たり、20名弱が日向工場に研修に来ている。能代工場の今春の高卒採用は7名で、全員を日向工場で受け入れる。

○視察項目（宮崎市）

- ・農業分野に特化した事業承継



視察報告

宮崎市では、インターネットサイトを通して、農業分野に特化した事業承継マッチングを行っている。後継者募集事業者の思いやストーリー、産物の魅力を伝え、農業承継事業者を募集していることが特徴である。

- ・スマート農業に関する取組



視察報告

宮崎市では、ハウスの高度環境制御装置、環境モニタリング装置、炭酸ガス発生装置、農薬散布のドローン等が導入され、作業効率の向上や事故の低減といった効果が出ている。

⑥ 会派視察

政務活動費を使用して視察を行ったものをお知らせします。

※政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員個々に交付しています。交付額は月額1万円（年額

12万円)です。

●希 望

○視察先 広島県呉市・府中市・岡山県総社市

視察日 令和5年2月8日～10日

参加者 鍋谷 暁、大高 翔、今野孝嶺、菅原隆文、安井和則、武田正廣

視察項目 (呉市) 中国木材株式会社本社

(府中市) 税務職員の相互併任に関する協定

(総社市) 教育特区「英語特区」の取組

ごみ減量化推進事業

●平政・公明党

○視察先 宮崎県日南市・鹿児島県南九州市・熊本県山鹿市・荒尾市・福岡県福岡市

視察日 令和5年2月6日～9日

参加者 藤田拓翔、阿部 誠、渡邊正人、落合範良、針金勝彦、渡辺優子、後藤 健

視察項目 (日南市) 油津商店街

(南九州市) 知覧武家屋敷庭園群、知覧特攻平和会館周辺の戦跡見学

(山鹿市) 西南戦争の史跡、山鹿灯籠民芸館、八千代座見学

(荒尾市) 「子育て応援タクシー」の実証実験

消防団活動アプリ「め組」

(福岡市) 天神中央公園、福博であい橋、福岡市赤煉瓦文化館等見学

(2) 予算、決算等の審議概要

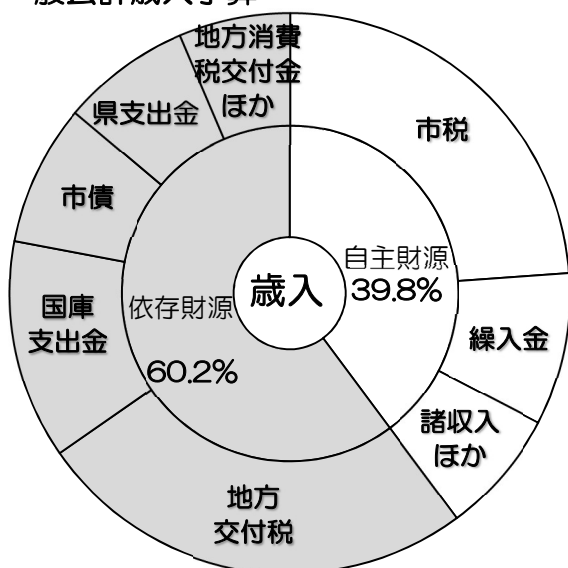
① 令和5年度能代市一般会計当初予算について

一般会計とは、福祉、教育、産業振興、道路整備などまちづくりに必要なお金を経理する会計で、令和5年度当初予算は317億5800万円となっています。

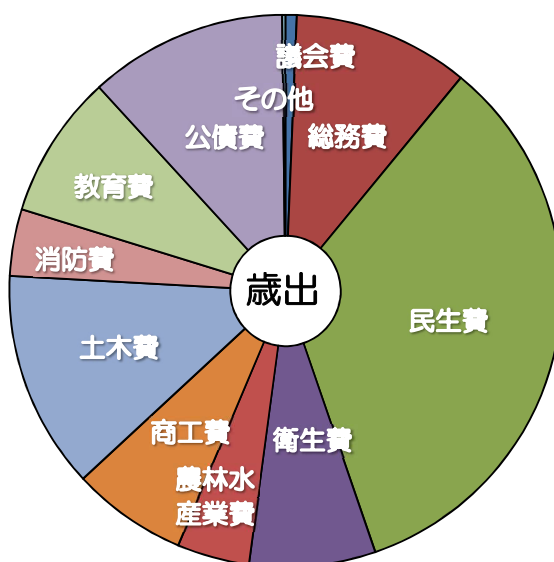
毎年3月定例会において、市長から次年度の予算案が提案され、予算委員会において詳細な審査をしています。その予算委員会に設置された分科会での主な質疑をお知らせします。

なお、令和5年度一般会計当初予算は、賛成多数で可決しました。

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



市税	(23.8%) 約 76 億円	議会費	約 2 億円 市議会の運営に
繰入金	(8.8%) 約 28 億円	総務費	約 32 億円 まちの行事や防災、市役所の管理などに
諸収入ほか	(7.2%) 約 23 億円	民生費	約 107 億円 高齢者や障がい者、子供達などのために
地方交付税	(25.5%) 81 億円	衛生費	約 23 億円 ごみ収集、健康診査や予防接種などに
国庫支出金	(12.6%) 約 40 億円	農林水産業費	約 13 億円 農業や林業の振興などのために
市債	(8.2%) 約 26 億円	商工費	約 21 億円 中小企業や工業や観光などの振興のために
県支出金	(7.5%) 約 24 億円	土木費	約 41 億円 道路や下水道の整備などに
地方消費税交付金ほか	(6.4%) 約 20 億円	消防費	約 12 億円 消防活動や救急業務などに
		教育費	約 27 億円 学校や文化・体育施設などの教育関係に
		公債費	約 37 億円 市の借入金返済に
		その他	約 1 億円 災害など緊急時の予備などに

【総務企画分科会】

議会費、総務費、消防費、公債費などの歳出と、それに関連した歳入のほか市税などを主に審査しています。

質 広報のしろの発行回数を現在の月2回から1回に集約する予定とのことだが、令和4年度当初予算との比較において増としている理由は。

答 物価高騰による印刷製本価格の上昇や、リニューアル後においてカラーページの増加を予定しているほか、各事業費に予算措置していた印刷製本費を、広報費に集約したため、当初予算の比較においては増となっているものの、広報のしろの市全体の予算としては、印刷製本価格の上昇分を除き、4年度当初予算を超えない範囲で調整した。

質 北高跡地利活用可能性検討業務委託の今後の進め方は。

答 4年度において開催したワークショップを引き続き実施したいと考えている。5年度は3回程度開催したのち、事業全体としての今後の方向性や利活用の可能性について取りまとめたい。

質 旧崇徳小学校活用調査等事業の概要は。

答 地域から様々な要望を受けており、住民等との話し合いを重ねてきた。基本的な方向性としては、檜山地域の歴史的資料の展示や、地域資源を活用したソフト面での利用、子供の学びの場、遊び場の機能等が考えられる。業務委託に当たっては、歴史に関する専門的知見を有する委託先を選定し、地域住民やのしろ檜山周辺ガイドの会の方々との意見交換を重ねながら、地域資源の整理を行い、活用案について検討を進めたいと考えている。

【文教民生分科会】

民生費、教育費などの歳出と、それに関連した歳入を主に審査しています。

質 高校生等の福祉医療費の内容は。

答 5年8月1日の福祉医療の更新時から高校生等全員分を全額助成しようとするものであり、拡充に伴う経費については、4年度当初予算と比較し5年度は8月から実施のため約2,000万円、翌年度以降は年間で約4,000万円それぞれ増と見込んでいる。

質 地域支え合い高齢者等見守り事業費に関し、見守り対応機器購入補助金の内容は。

答 独り暮らし高齢者やその家族の不安を軽減するため、見守り電球等の購入助成を新たに追加しようとするもので、5年度当初予算においては30件分を計上している。見守り電球は、点灯消灯の動きが24時間ない場合、見守りを行う方へメールでお知らせする仕組みとなっている。

質 がん対策強化推進事業の概要は。

答 5年度は新規事業として胃内視鏡検査への助成を開始するほか、子宮がん検診の無料クーポンについて現行の対象年齢に22歳、24歳、26歳、28歳を加え拡充しようとするものである。

質 学校給食物価高騰対策支援事業費の概要は。

答 食材費上昇分を4年度と同様の6%と見込み、小学生は1食16円、中学生は1食19円を支援しようとするもので、児童生徒約2,600人を対象としている。

【産業建設分科会】

衛生費、農林水産業費、商工費、土木費などの歳出と、それに関連した歳入を主に審査しています。

質 民間事業者が撤退を決めているバス路線の今後の対応は。

答 大柄・刈橋線については現在運行している路線を統合し、常盤地区を網羅するような形で予約制乗り合いタクシーでの運行、母体線についても同様に予約制乗り合いタクシーの運行とし、市内線については、市で車両を購入し、巡回型での運行を考えている。いずれも市内のタクシー事業者へ運行を依頼する方向で検討している。

質 市街地A I オンデマンド交通の試験運行の停留所はどの程度設置する予定か。

答 おおむねはまなす号の運行エリアで100か所程度の設置を考えている。

質 物価高、資材高騰による指定ゴミ袋の価格変更の考えはあるか。

答 原油価格の高騰等により、ごみ袋1枚当たりの作成費用が令和4年度当初予算と比較し、約2倍となるものと見込まれる状況にあるものの、市民の負担にもつながることから現段階では考えていない。

質 農業経営収入保険加入促進事業の概要は。

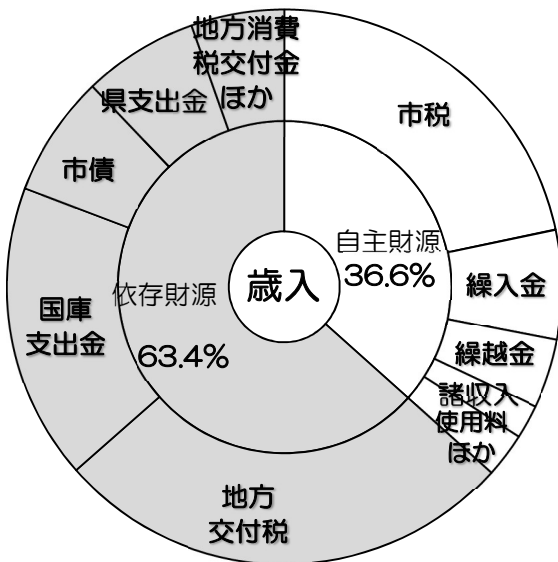
答 収入保険に加入する全農家を対象に、掛け捨て保険料の4分の1を補助しようとするもので、各農家へ秋田県農業共済組合を通じて支払おうとするものである。

② 令和4年度能代市一般会計決算及び特別会計決算について

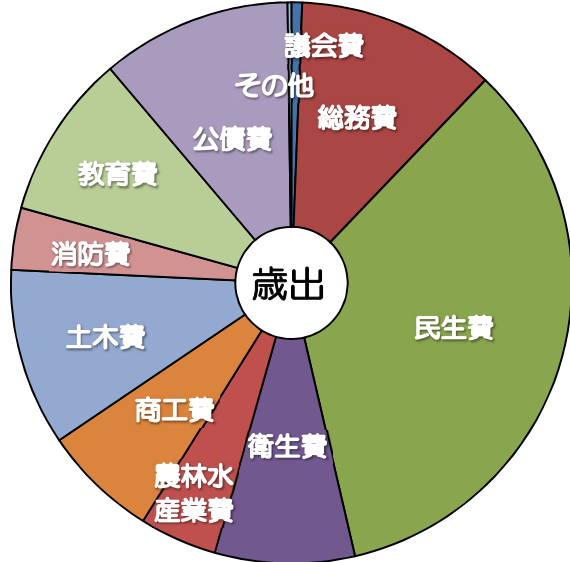
市における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績を表したものです。令和4年度一般会計決算は、歳入総額が338億3948万5599円、歳出総額が323億6128万9778円で、実質収支は11億0090万3529円でした。

9月定例会において市長から前年度の決算書等が提出され、予算が適正に執行されたか、収入が適正に確保されたかなどを決算特別委員会分科会で詳細に審査しました。令和4年度決算については、賛成多数で認定しています。

一般会計歳入決算



一般会計歳出決算



市税	(21.7%)	約 73 億円	議会費	約 2 億円	市議会の運営に
繰入金	(6.4%)	約 21 億円	総務費	約 37 億円	まちの行事や防災、市役所の管理などに
繰越金	(4.0%)	約 14 億円	民生費	約 111 億円	高齢者や障がい者、子供達などのために
諸収入	(2.0%)	約 7 億円	衛生費	約 26 億円	ごみ収集、健康診査や予防接種などに
使用料ほか	(2.6%)	約 9 億円	農林水産業費	約 14 億円	農業や林業の振興などのために
地方交付税	(26.9%)	約 91 億円	商工費	約 22 億円	中小企業の振興や工業振興などのために
国庫支出金	(17.3%)	約 58 億円	土木費	約 33 億円	道路や下水道の整備などに
市債	(7.1%)	約 24 億円	消防費	約 12 億円	消防活動や救急業務などに
県支出金	(6.7%)	約 23 億円	教育費	約 31 億円	学校や文化施設、スポーツ施設などに
地方消費税交付金ほか	(5.4%)	約 18 億円	公債費	約 35 億円	市の借入金返済に
			その他		災害など緊急時の予備などに

【決算特別委員会】

一般会計のほか国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など 10 ある全ての特別会計の決算を審査します。

質 一般会計決算を踏まえ、実質単年度収支の推移をどう分析しているか。

答 4億6036万5000円の赤字となっているが、物価高騰対策として財源不足分を財政調整基金で賄ったことや、能代工業団地拡張事業において、4年度に実施した用地購入費や造成工事に係る県補助金、用地売払い収入を合わせた4億6000万円程度が5年度の歳入となり、財源の年度間調整を行ったことが主な要因である。

質 G I G Aスクールでのタブレット端末の活用状況は。

答 授業内では表現ツール、思考ツールとして話合いの場面や学び合いの場面のほか、教科の特性に合わせ、調べ学習や動画撮影等で活用している。

質 令和4年8月の大雨による被害への支援は。

答 農地・農業用施設災害復旧支援事業の実績が約730万円のほか、土のう袋や砕石等の資材提供により農家の復旧を支援した。